

平成29年度上三川町一般会計当初予算

102億1,100万円

～『共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川』の実現に向けて～



歳出

家計簿に例えると…?

①食費	76万円
②医療費	98万円
③ローン返済	40万円
④家の増改築	66万円
⑤⑥⑧ 光熱水費など	140万円
⑦ 子への仕送り	80万円
合計	500万円

①人件費 15億5,541万円
職員や特別職給与、議員報酬などにかかるお金

②扶助費 19億9,231万円
医療費助成や高齢者・障がい者の生活支援などにかかるお金

③公債費 8億2,114万円
過去の借金返済にかかるお金

④普通建設事業費 13億4,729万円
道路や建物などの改修工事にかかるお金

⑤物件費 16億7,479万円
施設管理の委託料や消耗品などにかかるお金

⑥補助費等 11億4,007万円
町が加入している団体（石橋消防など）に納めるお金

⑦繰出金・出資金 16億3,495万円
町の保険特別会計や水道事業会計などに出すお金

⑧維持補修費など 4,504万円
公共施設・公用車の修繕にかかるお金など

義務的経費

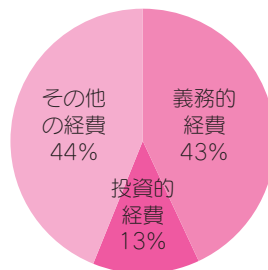
……投資的経費

その他の経費

表中①②③は、法律上その支出が決められていて、削減することが困難なため、**義務的経費**(全体の43%)と呼ばれています。

表中④は私たちが利用する道路や建物などを整備するお金で、**投資的経費**(13%)と言います。

その他、電気や水道などの料金、事務用品などにかかる**その他の経費**(⑤～⑧)は44%を占めています。



●歳出(支出)の特徴

支出の中で一番高い割合を占める**扶助費**は、児童医療費助成事業や障がい者自立支援給付事業などの福祉対策に充てるための所要額を約20億円確保しました。

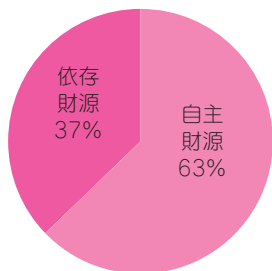
普通建設事業費は、大山保育所民営化に伴う施設整備や庁舎の耐震補強などを実施しますが、前年比では約2億4千万円減額しています。**公債費**は、約3千万円の増額となりました。



平成29年3月議会にて、平成29年度予算が可決されました。
このうち、一般会計予算についてお知らせいたします。
一般会計予算の事業概要や公営企業会計となる水道事業会計予算額など、詳細については町ホームページをぜひご覧ください。

歳入

自主財源	①町税 56億5,508万円 町民税や固定資産税などの町に納めていただいているお金
	②繰入金・諸収入等 8億1,012万円 基金（預貯金）を取り崩すお金など
依存財源	③地方消費税交付金・地方交付税等 11億730万円 消費税や所得税などの国税から町へ配分されてくるお金
	④国・県支出金 21億1,670万円 国や県から使い道が決められて渡されるお金
	⑤町債 5億2,180万円 長期間、銀行などから借り入れるお金（借金）



①町税や②基金の取崩しなど、町が自ら得られる収入を**自主財源**といい、全体の63%を占めます。残りが国などから補助される**依存財源**で、37%(表中③④⑤)となっています。

	平成29年度当初予算	前年度比
一般会計	102億1,100万円	-2.1%
特別会計	74億2,600万円	0.3%
国民健康保険事業	36億8,800万円	-0.6%
介護保険事業	19億9,000万円	1.2%
後期高齢者医療	2億3,200万円	-1.7%
公共下水道事業	12億100万円	2.5%
農業集落排水事業	3億1,500万円	-0.3%
計	176億3,700万円	-1.1%

特別会計当初予算

各特別会計は、それぞれ健康保険料や下水道使用料などの特定の収入を使って特定の事業を行うための会計です。

一般会計とは区別し、個別に経理しています。

※年間収支500万円の家計の

①基本給与	277万円
②預貯金の取崩し	40万円
③親からの仕送り	54万円
④親からの特別な仕送り	104万円
⑤銀行等からの借入(ローン)	25万円
合計	500万円

●歳入(収入)の特徴

町税は、法人町民税収入の減額が見込まれ、前年から約4億3千万円の減となっています。

一方で、国から配分される**地方交付税**のうち普通交付税について、今年度は交付団体となる見込みから、約2億8千万円の予算計上をしています。

▶問い合わせ先=

企画課 財政係 ☎56-9119